

エミレーツ・グループ、2024-25 年において過去最高となる 227 億ディルハム（62 億米ドル）の利益を達成

2024-25 年期の報告期間において、エミレーツ航空およびエミレーツ・グループが
業界内で最も収益力の高い企業グループとなる

アラブ首長国連邦（UAE）ドバイ、2025 年 5 月 8 日 — エミレーツ・グループは 2024-25 年次報告書（英語） を発表し、過去最高となる利益、EBITDA（利払い前・税引き前・償却前利益）、売上高、キャッシュバランスを記録しました。この卓越した業績により、2024-25 年期中においてエミレーツ・グループは世界で最も収益性の高い航空グループとなり、エミレーツ航空は史上最高の業績を達成し、世界で最も収益性の高い航空会社となりました。

当期においてエミレーツ航空および dnata の両社は世界中で事業を拡大し、高品質な製品とサービスに対する旺盛な需要に応え、グループの売上高に貢献しました。

2025 年 3 月 31 日に終了した 2024-25 年期中におけるエミレーツ・グループの主要な実績は以下の通りです：

- **税引前利益**：過去最高の 227 億ディルハム（62 億米ドル）、前期比 18% 増
- **売上高**：過去最高の 1,454 億ディルハム（396 億米ドル）、前期比 6% 増
- **現金資産**：過去最高の 534 億ディルハム（146 億米ドル）、前期比 13% 増
- **EBITDA（利払い・税引き・償却前利益）**：強固な営業利益性を示し、過去最高の 422 億ディルハム（115 億米ドル）、前期比 6% 増

エミレーツ航空は、世界で最も収益性の高い航空会社となりました。主な実績は以下の通りです：

- **税引前利益**：過去最高の 212 億ディルハム（58 億米ドル）、前期比 20% 増
- **売上高**：過去最高の 1,279 億ディルハム（349 億米ドル）、前期比 6% 増
- **現金資産**：過去最高の 497 億ディルハム（135 億米ドル）、2024 年 3 月 31 日時点と比較して 16% 増

dnata は、すべての事業部門で堅調な成長と業績を達成しました：

- **税引前利益**：過去最高の 16 億ディルハム（4 億 3,000 万米ドル）、前期比 2% 増
- **売上高**：過去最高の 211 億ディルハム（58 億米ドル）、前期比 10% 増
- **現金資産**：堅調な 37 億ディルハム（10 億米ドル）

エミレーツ・グループは、所有者であるドバイ投資公社（インベストメント・コーポレーション・オブ・ドバイ、ICD）に 60 億ディルハム（16 億米ドル）の配当を支払うことを発表しました。

当期は、2023 年に施行されたアラブ首長国連邦（UAE）の法人税が初めてエミレーツ・グループに適用された会計年度となりました。9% の税負担を計上した後の当グループの**税引後利益**は、205 億ディルハム（56 億米ドル）となりました。

エミレーツ航空・グループ 会長兼最高責任者であるシェイク・アハメッド・ビン・サイード・アル・マクトゥーム殿下は次のように述べました。「ドバイからエミレーツや dnata のような世界的に成功した航空関連企業が生まれたのは偶然ではありません。ドバイの航空産業は、先見性のあるリー

ダーシップ、戦略的な計画、連携した実行力、お客様、ビジネスパートナー、そしてドバイのすべての人々からいただいた力強い支援のおかげで、世界の舞台で影響力を持つ存在となりました。

政府が40年前にエミレーツを設立し、ドバイの成長を支えるために dnata の機能拡充を進めたときから、私たちの使命は明確でした——『私たちが取り組む分野で最高を目指すこと。そして、ドバイ、当グループのステークホルダー、およびサービスする地域社会に価値を提供する』ことです。

その使命のもと、私たちは常に優れた製品とサービスの提供に注力し、競争力を高めるためにテクノロジーと人材への投資を継続してきました。従業員とお客様を大切にし、地域社会に前向きな影響を与えるべく行動しています。近道をせず、短期的な利益のために将来を危険にさらすようなことをしません。こうした原則とドバイ独自の強みを基盤にビジネスモデルを構築することで、エミレーツ・グループはこれまで地政学的・社会経済的困難を乗り越えながら成長と強さを保ち続けてきたのです。」

シェイク・アハメッド殿下はさらに次のように述べました。「2024-25 年期中にエミレーツ・グループは利益、売上、現金資産のすべてにおいて新たな記録を打ち立て、さらなる高みへと到達しました。この1年を通じて、エミレーツと dnata は、世界各地での航空輸送サービスに対する旺盛な需要に迅速に対応し、卓越した製品とサービスを提供することで、多くのお客様の支持を得ることができました。これは、私たちが人材への投資、パートナーシップの構築、製品とサービスの向上に注力した成果です。

この記録的な実績を成し遂げたエミレーツ・グループの素晴らしい仲間たちに感謝するとともに、私たちが信頼し支えてくださったお客様、パートナーの皆さまに心より感謝いたします。そして、ドバイの先見の明のあるリーダーであるシェイク・ムハンマド・ビン・ラーシド・アル・マクトゥーム殿下、およびそのご子息であるシェイク・ハムダン殿下、シェイク・マクトゥーム殿下に対し、ドバイの開発戦略において継続的なリーダーシップのもとご尽力いただいたことに深い感謝の意を表します。エミレーツ・グループがその戦略において重要な役割を担えることを誇りに思っています。」

2024-25 年期中に、当グループは成長戦略の一環として、航空機、施設、設備、企業、最新技術への投資として、総額 140 億ディルハム（38 億米ドル）を投じました。

エミレーツと dnata が世界各地で事業拡大と能力強化に向けた採用活動を継続した結果、グループ全体の従業員数は前年比 9% 増の 121,223 人となり、過去最大となりました。

2025-26 年期中の見通しについて、シェイク・アハメッド殿下は次のように述べました。「私たちは、新たな年度を期待と楽観をもって迎えています。堅調な財務基盤により、これまで成功したビジネスモデルをさらに発展・拡大することが可能です。一部の市場では貿易や渡航制限に不安が広がっていますが、変動はこの業界にとって珍しいことではありません。私たちは常にこうした課題に柔軟に対応し、巧みに乗り越えてきました。

2025-26 年期中に、エアバス A350 型機 16 機とボーイング 777 フレイター型機 4 機を納入予定で、ネットワークの接続性および需要に応えるための輸送能力を強化します。また、エアバス A380 型機、ボーイング 777 型機、エアバス A350 型機を対象とした改修プログラムも引き続き加速させ、お客様に最新の機材と、より一貫性のある快適な体験をお届けしてまいります。

dnata は着実な成長軌道を歩んでおり、主要市場において設備投資の成果を見込んでいます。2026 年にはアムステルダム、ドバイ、エルビルで新たな施設を開設予定であり、これにより貨物取扱能力と機能が大幅に拡充されるでしょう。

新アル・マクトゥーム国際空港（DWC）およびドバイ・サウス周辺の拡張工事は既に進行中です。私たちはドバイ空港局やその他の関係機関と緊密に連携しながら、航空業界の未来と、最高の旅行体験を実現するための設計と構築に取り組んでいます。

当グループは自ら高い目標を掲げていますが、優秀な人材とドバイの成功の方程式があれば、エミレーツ・グループはこれからも明るい未来を切り拓き、サービスを提供する人々、都市、地域社会に、より一層の価値を届けることができると確信しています。」

エミレーツ航空の業績

2024-25 年期中におけるエミレーツ航空の**旅客および貨物の総輸送能力**は 4%増加し、600 億 ATKM（有効トンキロメートル）に達し、パンデミック前の水準にほぼ回復しました。

当期中にエミレーツ航空は、新たにボゴタとマダガスカルの 2 都市への就航を開始し、プノンペン、ラゴス、アデレード、エディンバラへの運航を再開しました。また、需要の増加に対応するため、その他 21 の都市へのサービスも強化しました。3 月 31 日時点で、エミレーツは 80 の国と地域、合計 148 都市に就航しており、コードシェア提携は 33 社、インターライン提携は 118 社に拡大しました。これにより、自社ネットワークを超え、1,750 以上の都市へのスムーズなアクセスをお客様に提供しています。

当期、エミレーツ航空はエアバス A350 型機を新たに導入し、プレミアム・エコノミークラスなどの人気商品や新世代の機内エンターテインメントシステムを搭載し、需要に応えるため輸送能力を強化しました。2025 年 3 月 31 日時点で、エミレーツは A350 型機を 4 機保有しており、エディンバラ、アーメダバード、バーレーン、コロンボ、クウェート、ムンバイへの路線を運航しています。

新造機の納入遅延が続く中、エミレーツ航空は 50 億米ドルを投入し改修プログラムの対象機材をさらに 99 機追加し、累計 219 機が機内キャビンの全面改修を受けました。2025 年 3 月 31 日時点で、エミレーツの納入待ち機材は 314 機あり、内訳はエアバス A350 型機が 61 機、ボーイング 777X 型機が 205 機、ボーイング 787 型機が 35 機、ボーイング 777 フレイター型機が 13 機です。

2025 年 3 月末時点で保有している貨物機材数は合計 260 機で、機材の平均使用年数は 10.7 年でした。

市場全体で高まる需要に対応し戦略的に輸送能力を配分した結果、エミレーツ航空の当期の**売上高**は前期比 6%増の 1,279 億ディルハム（349 億米ドル）となりました。一方で、一部の主要市場における為替の変動や価値下落が収益性に影響し、7 億 1,800 万ディルハム（1 億 9,600 万米ドル）の下振れ要因となりました。

エミレーツ航空の 2024-25 年期中の**営業キャッシュフロー**は、過去最高となる 408 億ディルハム（111 億米ドル）でした。これはエミレーツ航空社の力強い商業的成果を示すものであり、今後の事業拡大を可能にする原動力です。

2024-25 年期的エミレーツ航空の**営業費用**は前期比で 4%増加しました。費用項目で最も大きな割合を占めたのは燃料費と人件費であり、次いで所有コスト（減価償却費および償却費）でした。営業費用全体に占める燃料費の割合は、2023-24 年期の 34%から 31%に減少しました。燃料費は前年の 342 億ディルハム（93 億米ドル）から若干減少し、326 億ディルハム（89 億米ドル）となりました。これは、飛行回数の増加により燃料消費量が 5%増加したものの、平均燃料価格がヘッジ効果を含めて 10%下落したためです。

顧客層全体における旺盛な旅行需要、グローバルネットワークの強み、サービスに対する高い支持に支えられ、税引後利益は**過去最高**となる 191 億ディルハム（52 億米ドル）となりました。前期の 172 億ディルハム（47 億米ドル）を上回り、**利益率**は 14.9%という非常に高い水準に達しました。これはエミレーツ航空史上最高の業績であると同時に、2024-25 年期の航空業界全体においても最も優れた業績でした。

エミレーツ航空の 2024-25 年期の旅客数は 5,370 万人と、前期比 3%増の実績でした。当期において提供座席数は 4%増加しました。また、座席利用率は 78.9%で、前期の 79.9%からわずかに減少しました。旅客単位収益は、有償旅客キロあたり 36.6 フィルス（10.0 米セント）と、前期とほぼ同水準を保ちました。

エミレーツ航空は、2024-25 年期中、顧客体験のさらなる向上のための投資を継続しました。機内サービスの各種アップグレードに加え、ラウンジサービスに 6,300 万ディルハムを投資し、ロンドン・スタンステッドおよびジェッタに新規ラウンジをオープンしました。これによりエミレーツ・ラウンジの拠点数は全世界で 41 となりました。また、バンコクとパリの既存ラウンジの改装も行いました。これらの取り組みは、ハブ拠点であるドバイ以外の地域においても、プレミアム顧客にエミレーツならではの特別な体験を提供するための長期戦略の一環です。また、リヤドにて運転手付き送迎サービスを開始し、このサービスは 70 都市以上に拡大されました。

エミレーツ航空は、3,400 万ディルハムを投資し、世界の 8 都市に新たにプレミアム・トラベル・ストア「エミレーツ・ワールド」をオープンしました。旅のエキスパートがそれぞれの地域において、より多くのお客様に直面サービスを提供できる、オーダーメイドの空間を提供します。

当期において**エミレーツ・スカイカーゴ**は卓越した業績を上げ、前期比 7%増となる 230 万トンの貨物を世界各地で取り扱いました。新たに導入された 2 機のボーイング 777 フレイター型機と、ウェットリースした 2 機のボーイング 747 フレイター型機により輸送能力を拡充し、航空輸送需要の急増に対応しました。

グローバル物流における絶え間ない課題に的確に対応しつつ、エミレーツの貨物部門は 161 億ディルハム（44 億米ドル）と堅調な**売上高**を達成し、エミレーツ航空全体の売上高の 13%を占めました。貨物輸送トンキロ（FTKM）あたりの**イールド**は 10%上昇し、パンデミック前の市場水準に回復しました。

この好調な業績の要因は、エミレーツ・スカイカーゴが物流関連の専門的ソリューションを通じてお客様の支持を得、その需要に応え、またエミレーツのグローバルネットワークが持つ広範な接続性、ドバイが保有する世界水準の複合一貫輸送インフラ能力、デジタル技術、設備投資、カスタマイズされた製品への継続的な投資の成果だと考えています。

当期、エミレーツのフレイター・ネットワークにコペンハーゲンが加わりました。また、アフリカにおける展開を拡大するためにエミレーツはアストラル・アビエーションと覚書を締結しました。さらに、e コマース配送サービス「Emirates Delivers (エミレーツ・デリバーズ)」をサウジアラビアで開始し、お客さまと米国や英国のオンラインショップとの接点を築きました。加えて、デジタル化推進の一環として「eQuote (イクオート)」を導入しました。これは、世界 75 か国の顧客がいつでもどこでもスポット見積もりをリクエスト・管理できるセルフ型のデジタルサービスです。

エミレーツ航空は、貨物部門のグローバルな貿易・物流の中核としての地位をさらに強化するため、ボーイング 777 フレイター型機を新たに 10 機発注しました。これにより、エミレーツ・スカイカーゴは現在 13 機の貨物機を発注中であり、2026 年 12 月までに貨物専用機の保有機数を 21 に拡大する予定です。

2025 年 3 月末時点において、エミレーツ・スカイカーゴは 10 機のボーイング 777 フレイター型機を保有しています。

エミレーツ・グループ会社であるエミレーツ・フライト・ケータリング、MMI-ELR (エミレーツ・レジャー・リテール) グループが、2024-25 年期中に顕著な業績を達成しました。

エミレーツ・フライト・ケータリングは 2024-25 年期中、顧客増により売上高を前期比 11%増加し、11 億ディルハム (2 億 9,300 万米ドル) を計上しました。期中、当社はドバイにおいて 114 の航空会社に対し 1,540 万食を提供しました。また、卓越したランドリーサービスプロバイダーとしての地位を確立すべく、「Linencraft (リネンクラフト)」の設備拡張に 1 億 6,000 万ディルハムを投資することを決定しました。2026 年までに 1 日あたり 400 トンの洗濯処理能力を備える計画です。さらに、UAE 国内消費者向けに食料品を提供する「Foodcraft (フードクラフト)」を立ち上げました。

MMI-ELR (エミレーツ・レジャー・リテール) グループは、2024-25 年期中に堅調な業績を上げ、売上高は前期比 6%増の 31 億ディルハム (8 億 4,700 万米ドル) となりました。両社は年間を通じた需要増に恵まれ、MMI のスリランカにおける初出店舗を含め、合計 22 カ所で飲食および小売店舗を新設しました。

潤沢なキャッシュバランスと営業キャッシュフローを背景に、エミレーツ航空は 2024-25 年期中において、航空機の引渡し前支払いや各種ファイナンス債務など、すべての契約上の義務を履行しました。その上で 2025 年 3 月 31 日時点にて 497 億ディルハムの**現金準備金**が計上されました。

エミレーツ航空は、2013 年に発行した満期 12 年の 7 億 5,000 万米ドルの社債を 2024-25 年期中に全額返済しました。アイルランド証券取引所に上場された、航空会社としては初となる「シニア無担保・分割償還型」の社債でした。返済スケジュールを忠実に履行したことにより、エミレーツの信用力は国際金融市場においてさらに高まったと考えています。また当期中、エミレーツはブレント原油価格および精製マージンの変動に備えるため、シンプルなフォワード契約によるヘッジを継続実施しました。さらに、金利変動の影響を抑えるために長期金利のヘッジも行っています。世界中に事業展開していることから多通貨へのエクスポージャーも大きく、為替リスクについては、通貨オプション、フォワード契約、自然ヘッジを組み合わせることで適切に管理しました。こうした体系的なリスク管理により、市場の変動に対するキャッシュフローの予測性が向上し、財務の安定性が一層強化されました。これらのリスク管理プログラムにより、2024-25 年期中において、11 億ディルハム (2 億 8,700 万米ドル) 相当のコスト削減効果がありました。

dnata の業績

dnata は 2024-25 年期、全事業部門で堅調な業績を上げましたが、特に空港業務部門およびケータリング・小売部門の貢献が顕著でした。税引前**利益**は前期比 2%増の 16 億ディルハム（4 億 3,000 万米ドル）でした。

世界的な航空および旅行業界の需要回復を背景に、特にオーストラリア、ヨーロッパ、UAE、イギリス、アメリカといった主要市場での事業拡大が奏功し、dnata の**売上高**は前期比 10%増の 211 億ディルハム（58 億米ドル）となり、過去最高を記録しました。

dnata の国際事業は、前期と変わらず全体収益の 75%を占めました。

顧客ニーズへの対応と将来の成長を見据えた能力・設備の拡充を目的に、dnata は 2024-25 年期に 5 億 7,900 万ディルハム（1 億 5,800 万米ドル）を投資しました。実施した主要な投資には、環境戦略の一環として導入された空港業務向けの電動・ハイブリッド型地上支援機材、オーストラリアでの新たなケータリング施設、そして UAE における貨物施設の新設などがあります。

2024-25 年期、dnata の**営業費用**は、空港業務、ケータリング・小売部門、旅行部門における事業拡大に伴い、前期比 10%増の 197 億ディルハム（54 億米ドル）となりました。

dnata の**キャッシュバランス**は、所有者であるドバイ投資公社（ICD）への配当の支払いに加え、投資および債務返済の資金調達により、前期比 4 億 6,800 万ディルハム減少し、2024-25 年期末には 37 億ディルハム（10 億米ドル）となりました。一方で、収益の大幅な改善を背景に、営業キャッシュフローは 27 億ディルハム（7 億 3,500 万米ドル）を記録しました。

地上支援および貨物取扱を含む **dnata の空港業務**の売上高は、2024-25 年期に 99 億ディルハム（27 億米ドル）へ増加しました。

dnata が全世界で取り扱う航空機の対応回数は前期比 2%増の 794,091 回となり、貨物量取扱量は同 9%増の 310 万トンに達しました。これは、新規契約の獲得や、各市場における顧客である航空会社の運航便数の増加を反映したものです。

2024-25 年期、dnata の空港業務部門は、イタリアの地上サービス提供会社である「エアポート・ハンドリング」の 30%の株式を取得し完全子会社化したことにより、ローマ・フィウミチーノ空港での運営を開始しました。22 の航空会社に対して年間約 7 万便のフライトをサポートすることになります。これにより、ミラノのマルペンサ空港およびリナーテ空港におけるグランドハンドリング業務と合わせて、dnata のイタリアにおける事業規模はほぼ倍増します。また、当期にチューリッヒおよびブリュッセルにおける運営ライセンスを 7 年間更新し、さらに米国ノースカロライナ州のローリー・ダーラム国際空港での空港業務を開始しました。

貨物分野において、dnata は世界的な需要の高まりに対応するため、大規模な投資を行いました。ドバイ・サウスでは、「dnata Logistics」が 57,000 平方メートルの新倉庫の建設に着工しました。このプロジェクトには 2,700 万米ドルが投じられ、今後もドバイがグローバルな物流ハブとして成長していくための基盤を築きます。また dnata はチューリッヒの空港当局と専属リース契約を締結し、2027 年初頭に開業予定の先進的な新倉庫を運営する予定です。

dnata のケータリング・小売事業の売上高は、前期比 10%増の 71 億ディルハム（19 億米ドル）でした。機内食事業では航空会社向けに 1 億 1,400 万食を提供しましたが、前期から 2%の減少となりました。2024-25 年期中において、dnata はサービスポートフォリオを見直し、戦略的な顧客セグメントに重点を置く形で最適化を図りました。

2024-25 年期中における主な受注実績として、アメリカにおけるエティハド航空およびブリティッシュ・エアウェイズとの長期契約の締結があります。また、アンマンにて 30 社以上の航空会社に世界水準の機内食サービスを提供するジョルダン・フライト・ケータリング・カンパニー・リミテッドと、dnata は運営管理を担う長期契約の更新を実現しました。

2024-25 年期中における主な投資には、新設されるウェスタン・シドニー国際空港における 1,700 万豪ドル規模の機内食センターの建設や、メルボルン空港の生産能力を年間 2,500 万食に拡大するための施設拡張が含まれます。いずれの施設も 2026 年の開業を予定しています。また、**dnata の旅行サービス部門**の売上高は、イギリスでの旅行事業およびクルーズ旅行事業を行うイマジン・クルージングによる好調な業績により、前期比 11%増の 39 億ディルハム（11 億米ドル）となりました。

旅行サービス部門の総取引額（TTV）は、世界中の顧客層に対し B2B および B2C の旅行商品を的確に提供できたことを反映し、前期比 9%増の 97 億ディルハム（26 億米ドル）となりました。

2024-25 年期中、dnata の旅行部門は、顧客の多様化・進化するニーズに応えるため、製品・サービスのポートフォリオの更なる充実に着手しました。dnata トラベル社はブランドの訴求内容を刷新し、オンライン・オフライン両面で大規模な投資を実施。具体的には、公式サイト

「dnatatravel.com」における予約体験の強化や、刷新されたデザインの店舗展開などがあげられます。また、アラビアン・アドベンチャーズ社は、アラブ首長国連邦（UAE）を訪れる観光客の増加に対応し、その一環として、ヴーヴ・クリコとの提携によるプレミアムなプライベート・ダイニング体験、ドバイにて複数の体験型アクティビティを備えた砂漠観光施設「ザ・フォート・リサイリ（The Fort Lisaili）」のオープンなどの新商品を展開しました。

dnata トラベル・マネジメント社は、2024-25 年期中に新たな法人顧客を獲得しました。また、ドバイに拠点を置く dnata レプレゼンテーション・サービス社は、世界有数の国際航空会社 6 社と新たに総販売代理店（GSA）契約を締結しました。

サステナビリティ

2024-25 年期中、エミレーツ・グループは、環境への影響を抑え、地域社会とのつながりを深めるとともに、従業員の成長を支援し、その成果を正に評価するためのさまざまな取り組みを実施し、投資を継続しました。

エミレーツ航空は、ネットワーク全体で可能な限り、持続可能な航空燃料（SAF）の導入を進めるべく、その活用機会を追求しています。2024-25 年期中には、ロンドン・ヒースロー空港およびシンガポールにおいて初めて SAF を調達しました。また、ドイツの航空輸送に関する再生可能エネルギーイニシアティブである「aireg」（アイレグ：Aviation Initiative for Renewable Energy in Germany）に加盟しました。

持続可能な航空に向けた研究開発資金を活用し、エミレーツ航空はケンブリッジ大学の「アビエーション・インパクト・アクセラレーター（Aviation Impact Accelerator）」と提携し、排出量削減に向けた道筋の研究を支援しました。

エミレーツ航空は、ドバイのエミレーツ・エンジニアリング・センターにおいて、同センターの電力需要の37%を賄うための大規模な太陽光発電プロジェクトを開始しました。また、海洋保全に取り組む「ドバイ・リーフ・プロジェクト」に戦略的パートナーとして参画したほか、冷凍食品のサプライチェーンにおけるエネルギー消費の削減を目指す国際的な連携「Move to -15°C」連合に加盟しました。さらに、アフリカ連合がロバのと殺を禁止したことを受け、ロバの皮を貨物輸送の禁止対象に加えた初の航空会社となりました。

エミレーツ航空は、アップサイクルと社会貢献を組み合わせた取り組みとして、「エアクラフテッド・キッズ」を実施しました。このプロジェクトは、機内改修プログラムで回収された座席の生地を再利用し、耐久性に優れた通学用バッグを数千個単位で製作するというものです。通学用バッグは、教育を支援する目的で、世界中の恵まれない子どもたちに NGO を通じて配布されました。また、イギリスでは、視覚障がい者や弱視者向けの教員養成活動を支援するために、アイマスク 12,000 枚が寄付されました。

2024-25 年期、dnata は世界各地の空港で電動およびハイブリッド型の地上支援機材（GSE）の導入を拡大しました。ドバイでは電動 GPU（地上電源装置）、シンガポールでは電動フォークリフト、サンパウロでは電動トーイング・トラクターを新たに導入しました。また、プラハでは初の完全電動ケータリングトラックの試験運用を実施しました。さらに、オランダ国際空港では、地上支援機材をすべて電動化した施設「ステーション・オブ・トゥモロー」を開設し、オーストラリアでは初の完全電動によるプッシュバック作業を実施しました。

電動化されていない機材についても、dnata は可能な限り排出量削減に向け代替燃料の導入を進めています。2024-25 年期に、ドバイにおけるすべての非電動エアサイド機材にバイオディーゼル混合燃料を導入し、シンガポールでエクソンモービルとの再生可能ディーゼル（R20）の試験を開始しました。また、ロンドン・ヒースロー空港では、大型車両に 90%水素化植物油（HVO）を使用した運用を開始しました。

2024-25 年期、エミレーツ・グループは、社員の人材育成、研修、評価・報酬、そして心身の健康と福祉の向上を目的としたプログラムをさらに拡充しました。主な取り組みには、社員の人事関連手続きを一括で対応できる総合窓口「Wejhaty（ワジャティ）」の開設、客室乗務員向けに特化した交流・連携スペースの整備、アラブ首長国連邦（UAE）国籍の若手人材を対象としたキャリア支援プログラムおよび国際奨学金制度の導入、さらに UAE およびグローバルネットワーク全体での生活費上昇に対応した基本給および手当の引き上げなどがあります。

エミレーツ・グループの環境・社会・ガバナンス（ESG）に関する取り組みの詳細については、エミレーツ・グループ年次報告書 2024-25（The Emirates Group Annual Report 2024-25）全文をご覧ください。

エミレーツ・グループ（エミレーツ航空、dnata、および各社の子会社で構成）の 2024-25 年次報告書は、以下のウェブサイトよりご覧いただけます：www.theemiratesgroup.com/annualreport（英文）

以上

米ドル数値は 1 米ドル=3.67 ディルハムで換算され、ディルハム数値は百万桁で四捨五入されています。